

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	瀬戸下水処理場維持管理業務				
所管部局	都市建設部	部局長名	海治 甲太郎	予算事業名	瀬戸処理場維持管理費
所管部署	下水処理場管理課	所属長名	山崎 荘一	予算事業科目(平成25年度)	110102010520

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	01 共生の環	施策取組方針	生活排水による水質汚濁を防止するために、下水道普及率の向上に取り組むとともに、処理水質の確保のための適切な施設管理に努めます。 また、公共下水道と浄化槽処理との適切な役割分担による、地域の実情に即した生活排水対策を推進します。		
政策	03 環境汚染の防止				
施策	09 生活排水対策の推進				
2 事業の根拠・性格	法定受託事務	<input checked="" type="radio"/>			
法律・政令・省令	下水道法第3条、水質汚濁法第12条、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第3条、第11条				
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等					
その他(計画、覚書等)					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	瀬戸処理区域内の市民と事業所及び公共用水域			
意図	どのような状態にしていくのか	流入水に応じて施設や設備を適切かつ効率的に運営し、処理水質の安定を図り、公共用水域の水質保全に寄与する。			
手段	事業実施体制等	3処理施設(下知、潮江、瀬戸)の一元管理のなかの一事業所。運転管理業務は仕様書発注による民間委託。	事業開始年度	昭和62年度	
			事業終了年度	-	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確実に流入下水を処理する。(法令等の水質基準を満たす放流水質を確保する。) ・ 施設や設備の適切かつ効率的な運営。 ・ 浸水防除。 			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	BOD(生物化学的酸素要求量)の除去率	排水基準を満たす放流水質を確保した上での処理効率の指標		
	B	(滅菌用)次亜塩素酸の使用量	ユーティリティ削減等による効率的な運営の指標		
	C	T-N(全窒素)の除去率	高度処理(標準法施設であるが創意工夫による擬似高度処理)の指標		

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	BOD(生物化学的酸素要求量)の除去率	93%	93%	93%	93%	BODの目標値は変更認可申請書(平成23年4月)の76%の総合除去率93%。次亜塩は下水道維持管理指針後編2003年版205%の塩素の注入率の中間値3mg/L→比重1.2有効塩素12%で換算し21ml/m3。T-NはBODと同様かつ擬似高度処理のため60%。	
		実績	98.1%	97.6%	97.2%	97.2%		
	B	(滅菌用)次亜塩素酸の使用量	21ml/m3	21ml/m3	21ml/m3	21ml/m3		
		実績	14ml/m3	14ml/m3	15ml/m3	15ml/m3		
C	T-N(全窒素)の除去率	60%	60%	60%	60%			
	実績	65.9%	64.6%	67.1%	67.1%			
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	183,848	146,571	137,248	138,581		
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	183,848	146,571	137,248		138,581
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	21,600	21,600	22,200	22,200		
		正規職員(千円)	21,600	21,600	22,200	22,200		
		その他(千円)						
		人役数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00		
		正規職員(人)	3.00	3.00	3.00	3.00		
		その他(人)						
総コスト=①+②(千円)		205,448	168,171	159,448	160,781			
市民1人当たりコスト(円)		606	498	471	471	総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)		339,130	337,875	338,397	338,397			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	流入下水を確実に処理し、法令等の排出基準を満たす放流水質を確保して公共用水域の水質保全に寄与し、合わせて浸水防除も行なう本事業は総合計画に定められた人の健康や生態系に深刻な影響を及ぼす水質汚濁などの環境汚染を防止するものである。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	流入水に応じて施設や設備を適切かつ効率的に運営しながら、法令等の排水基準を満たす放流水質を確保している。また、創意工夫により擬似高度処理を実施し、閉鎖性海域である浦戸湾の富栄養化を防止している。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	平成25年度のアウトソーシング進行管理票で報告したように包括的民間委託はできないことを部内決定した。これにより現状の仕様書発注による運転管理の民間委託を継続することになった。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	瀬戸処理区内の普及率は、97%であり、公平性が高い。また、公共下水道の汚水整備は受益者負担の原則のもと実施しており、適正な受益者負担である。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	20.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	1次評価のとおり
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--